

歯科 50 万署名推進ニュース

NO. 13 (2011. 11. 1 FAX2 枚) 発行:「保険で良い歯科医療を」全国連絡会事務局
連絡先: 全国保険医団体連合会内 (TEL: 03-3375-5120 FAX: 03-3375-1862) 部内資料

◆ 目標の 10 万筆を突破し、10 月 29 日時点で 12 万 2,828 筆を集約

全日本民医連 歯科部長 江原雅博

東日本大震災の影響により、当初の予定から 2 ヶ月遅れ、7 月からスタートし、10 月 30 日までの実質 4 カ月の取り組みとなりました。2 年前のように運動途中で、社保集會を持つことが出来ない中でも目標を突破しています。引き続き 10.30 集會まで奮闘をしています。

今回の取り組みの特徴は、歯科事業所だけでなく医科や介護の施設での署名を強化したことです。前回の倍の 3 万筆を超える署名が集まりました。また、協力してもらえ方から「この内容だったらもっと集められる」など請願項目が国民の要求に合致したものになっていたこと。昨年以來の歯科酷書の学習会やピラ・アンケートなどの運動を取組んだため、地域の中での協力がスムーズにいったのではないかなどと思われます。

現在、民医連では事業所の経営改善の強化を行い一定の成果をえています。その教訓は、「自費の増減に左右されず、患者数を延ばし、保険収益をしっかりと確保すること」です。経営改善と署名の取り組みが連動しての運動になっています。

9.23 の仙台での「震災復興と医療再生」の集會でも、参加者から「県歯科医師会会長の報告で初めて今の歯科医療の荒廃を知った」という感想が寄せられましたが、私たちの歯科の状況はまだまだ知られていません。近年、歯科経営コンサルタントからの勧誘やダмпिंगなど情報が寄せられていますが、歯科医療機関がバラバラになり個々の生き残りを模索するのではなく、連帯してこの運動を進めることこそ、歯科医療再生の道だと考えます。

◆ 10.30 歯科医療の危機打開決起集會が開催され、493 人が参加

10 月 30 日、「保険で良い歯科医療を」全国連絡会、全国保険医団体連合会、全日本民主医療機関連合會、日本医療福祉医療生活協同組合連合会の 4 団体でつくる実行委員会が主催し、「口から見える格差と貧困 10.30 歯科医療の危機打開決起集會」が、10 月 30 日に東京都内で開催されました。

集會には、歯科医師、医師、医療従事者、市民など 493 人が参加し、熱気あふれる集會となりました。

実行委員会を代表し、保団連の宇佐美宏・歯科代表が基調報告をおこないました。基調報告では、歯科医療の視点から格差と貧困の実態を患者・国民、歯科医療従事者などのそれぞれの分野で進行し、歯科医療崩壊を加速させていることを資料にもとづき詳しく報告。歯科医療崩壊をストップさせるために、この決起集會を跳躍台に、窓口負担の大幅軽減、2012 年度診療報酬改定の大幅引き上げ、保険給付の拡大、患者請願署名や地方議会で意見書採択運動の推進をよびかけました。

リレートークでは、7 人が発言 (テーマと発言者は別掲※)、最後に採択した決議では①安心して歯科治療が受けられるように窓口負担を大幅に軽減させよう、②健康保険で歯科治療が受けら

れるよう、保険の効く範囲を広げよう、③保険医の人権を無視し、患者の療養権を奪う指導、監査を抜本的に改善させよう、④東日本大震災の復旧・復興で大切な歯科治療を再建しよう、⑤「社会保障・税一体改革」案、TPPへの参加は阻止しようの5項目の実現を求めて、多くの国民や医療従事者と力を合わせてその実現のため一層奮闘するとしています。

【※リレートークのテーマと報告者】①『「歯科酷書」に続く民医連歯科の取り組み』/島根・塩冶歯科診療所・庄司聖さん、②歯科医療に関する1万人市民アンケート結果から見えるもの/全国保険医団体連合会副会長・山上紘志さん、③歯は健康の入り口 建設職人の強い願い/千葉県土建一般労働組合・秋田幸枝さん④歯科技工海外委託裁判の終結と今後の歯科医療/違法入れ歯断固阻止・歯科医療を守る国民運動推進本部代表・脇本征男さん⑤高点数医療機関へ一律に行う個別指導は断固反対/東京歯科保険医協会会長・松島良次さん、⑥被災地の歯科衛生士として/宮城・古川民主病院歯科クリニック・小玉奈緒美さん、⑦大阪連絡会の活動と署名の取り組み/保険でよい歯科医療を大阪連絡会代表世話人・戸井逸美さん。この他フロア討論では愛知県保険医協会の小塚信幸さんが歯科署名の取り組み、宮城県保険医協会の杉目博厚さんが被災地での窓口負担免除を求める運動、静岡県保険医協会の山田美香さんが審査指導問題のそれぞれについて発言しました。

◆ 1時間余で1000筆超の署名。10.30 東京・新宿と巣鴨で宣伝行動

「10.30 歯科医療の危機打開決起集会」に先立ち、10月30日の午前、東京の新宿駅西口と巣鴨駅前街頭宣伝行動がおこなわれました。

宣伝行動では、全国から集まった歯科医師、医療従事者らが、次々とハンドマイクで「患者負担軽減」や「保険のきく範囲を広げよう」などと訴えました。着ぐるみも登場した宣伝行動には200人余が参加し、チラシ、歯ブラシ、ガム、ポケットティッシュなどを配布しながら署名への協力をよびかけました。子どもづれの母親や、お年寄り、若者らが署名に足を止め、1時間余の行動で1100筆余の署名が集まりました。

歯科請願署名の集約状況

北海道	13013	埼玉	1662	岐阜	1326	鳥取	2021	佐賀	0
青森	1434	千葉	13933	静岡	731	島根	4990	長崎	3828
岩手	0	東京	21053	愛知	36923	岡山	8531	熊本	1161
宮城	7847	神奈川	2066	三重	960	広島	3497	大分	1539
秋田	1984	山梨	5483	滋賀	83	山口	316	宮崎	328
山形	446	新潟	705	京都	5150	徳島	2906	鹿児島	4125
福島	0	富山	431	大阪	28138	香川	1671	沖縄	3536
茨城	3864	石川	1406	兵庫	6404	愛媛	225	全国団体	1415
栃木	383	福井	2182	奈良	1114	高知	194	計	220170
群馬	10283	長野	1666	和歌山	0	福岡	6259		

(10/30 現在、連絡会に参加している各団体などから報告をいただいた総計数です)

◆ 12月1日に歯科医療改善を求め、国会請願行動を予定

「保険で良い歯科医療を」全国連絡会も参加する「10.30 歯科医療の危機打開決起集会」実行委員会は、現在、全国で実施している「窓口負担の大幅軽減」、「保険のきく範囲の拡大」の実現を求める国会請願署名の提出ととともに、歯科医療改善を求め、国会12月1日(木)に行います。詳細については別途ご案内します。